

大和住銀／コロンビア米国株 リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)／ Bコース(ダイワ投資一任専用)

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：Fコロ米株A／Fコロ米株B

2024年6月18日から2025年6月16日まで

第 9 期 決算日：2025年6月16日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

各ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当期の状況

	Aコース (ダイワ投資一任専用)	Bコース (ダイワ投資一任専用)
基準価額(期末)	21,305円	37,383円
純資産総額(期末)	2,934百万円	9,029百万円
騰落率(当期)	+2.5%	-1.8%
分配金合計(当期)	0円	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

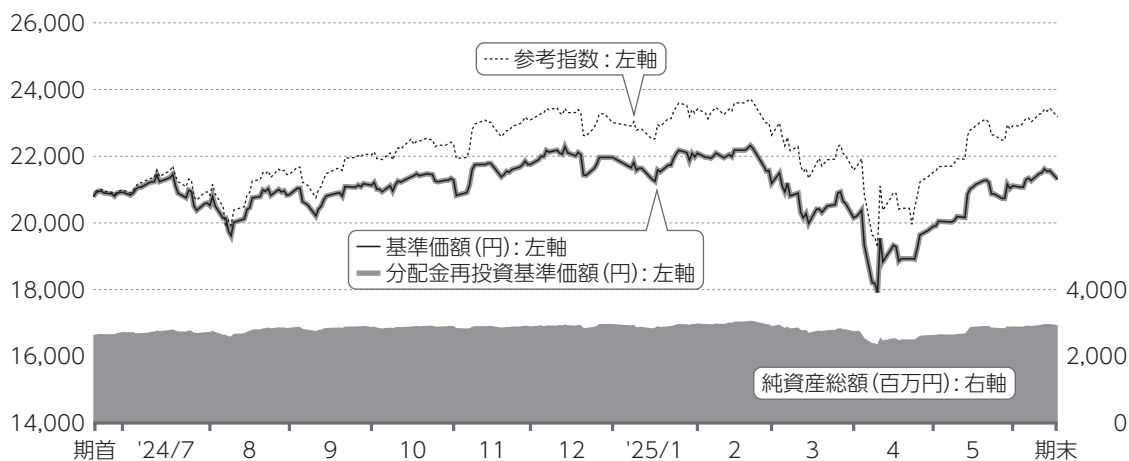
【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年6月18日から2025年6月16日まで)

基準価額等の推移

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	20,785円
期末	21,305円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+2.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、S & P 500インデックス(配当込み)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	38,052円
期末	37,383円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-1.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2024年6月18日から2025年6月16日まで)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資しました。

上昇要因

- インフレ見通しやF R B (米連邦準備制度理事会)の金融政策に対する思惑、トランプ政権の政策をめぐる不透明感等から上下した場面はあったものの、期を通じて見ると米国株が上昇したこと

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資しました。

上昇要因

- インフレ見通しやF R Bの金融政策に対する思惑、トランプ政権の政策をめぐる不透明感等から上下した場面はあったものの、期を通じて見ると米国株が上昇したこと

下落要因

- F R Bの利下げや日銀の利上げなどから日米金利差の縮小が意識され、米ドル安・円高となったこと

1万口当たりの費用明細(2024年6月18日から2025年6月16日まで)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	110円	0.521%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は21,039円です。
(投信会社)	(81)	(0.384)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(23)	(0.110)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(-)	(-)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	111	0.526	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

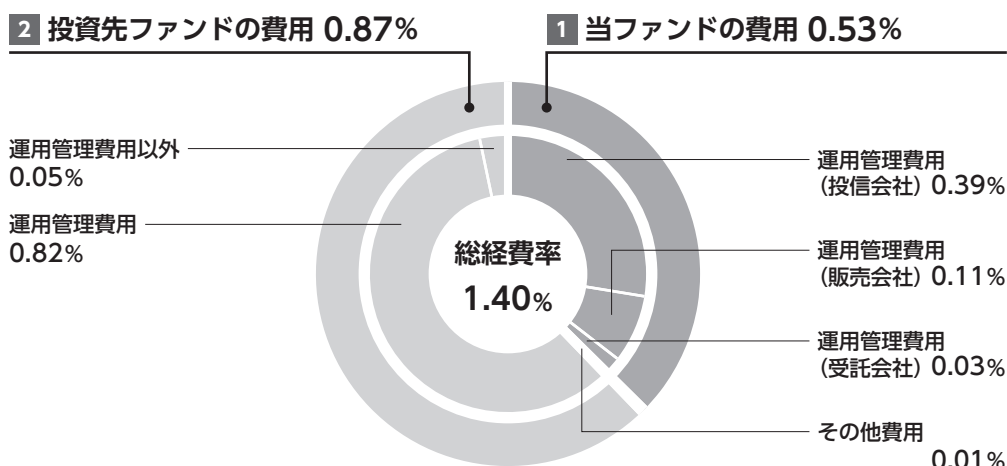
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)		1.40%
1	当ファンドの費用の比率	0.53%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.40%です。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	196円	0.521%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は37,702円です。
(投信会社)	(145)	(0.384)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(41)	(0.110)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(10)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(-)	(-)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	198	0.526	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

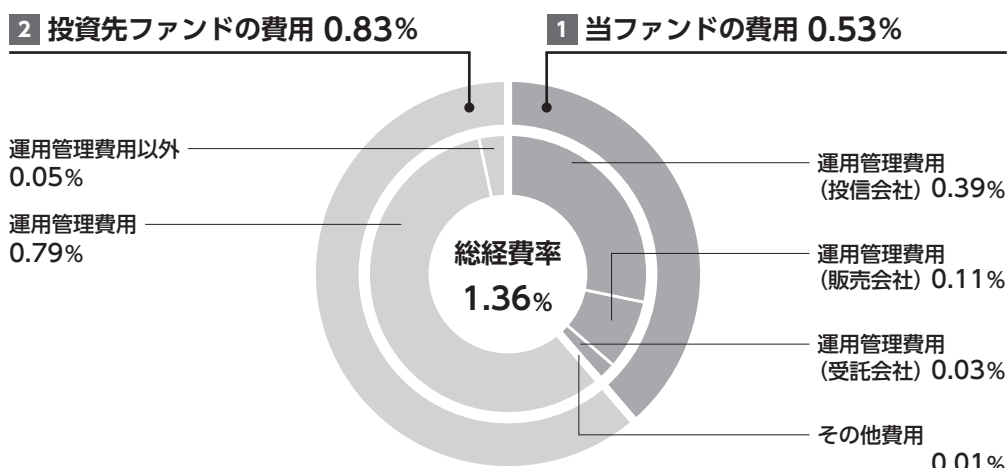
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	1.36%
1 当ファンドの費用の比率	0.53%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.79%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

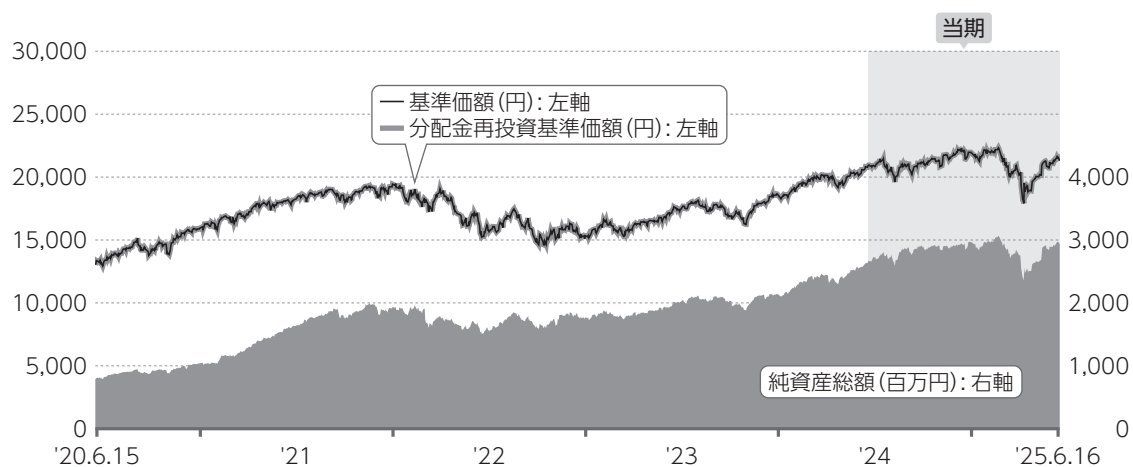
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.36%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年6月15日から2025年6月16日まで)

最近5年間の推移

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)



※分配金再投資基準価額は、2020年6月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

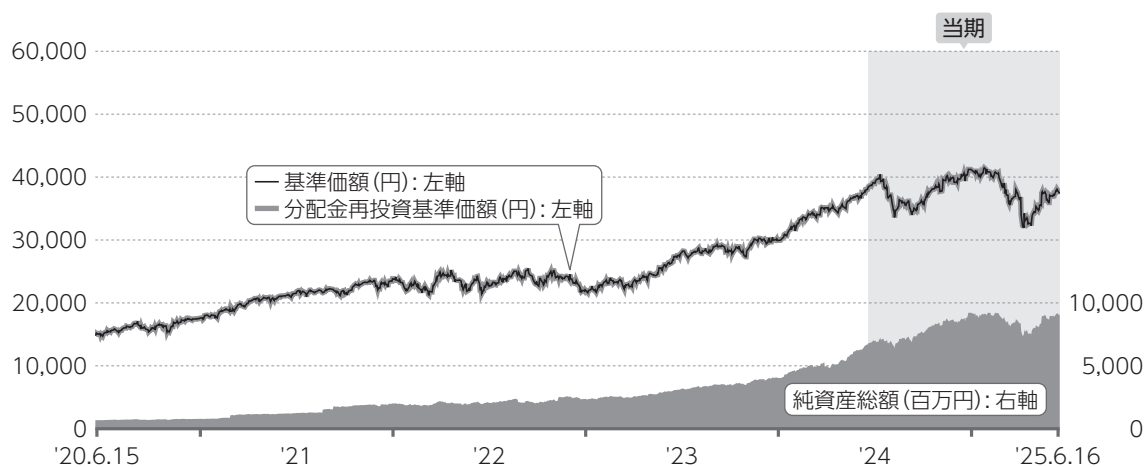
		2020.6.15 決算日	2021.6.15 決算日	2022.6.15 決算日	2023.6.15 決算日	2024.6.17 決算日	2025.6.16 決算日
基準価額	(円)	13,035	18,196	15,466	17,430	20,785	21,305
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	39.6	-15.0	12.7	19.2	2.5
参考指数騰落率	(%)	—	42.1	-10.9	19.1	26.1	11.5
純資産総額	(百万円)	786	1,599	1,530	1,993	2,636	2,934

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)



※分配金再投資基準価額は、2020年6月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2020.6.15 決算日	2021.6.15 決算日	2022.6.15 決算日	2023.6.15 決算日	2024.6.17 決算日	2025.6.16 決算日
基準価額	(円)	14,824	21,330	22,137	26,811	38,052	37,383
期間分配金合計(税引前)	(円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	－	43.9	3.8	21.1	41.9	－1.8
参考指数騰落率	(%)	－	45.9	9.2	23.8	41.5	2.2
純資産総額	(百万円)	669	1,221	1,983	3,009	6,687	9,029

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

投資環境について(2024年6月18日から2025年6月16日まで)

期間における米国株式市場は上昇しました。また、為替市場は米ドル安・円高となりました。

米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。期の前半は、米国経済がソフトランディング(軟着陸)するとの見方や、F R Bの利下げ実施、大型テクノロジー企業の好決算等から上昇基調となりました。期の後半は、トランプ政権の関税政策をめぐる不透明感等からボラティリティ(変動性)の高い環境が続きましたが、期を通じて見ると上昇して終わりました。

為替市場

期末の米ドル・円は、期初と比較して米ドル安・円高となりました。期の前半は、F R Bの利下げ観測と実施、および日銀による利上げを受けて米ドル安・円高が進みましたが、米大統領選挙後に米長期金利(10年国債利回り)が上昇したことで、年末にかけて米ドル高・円安に振れました。その後、期末にかけては日米金利差の縮小期待や米国の関税政策における不透明感等からリスクオフ(リスク回避)状態となり、再び米ドル安・円高基調となりました。

ポートフォリオについて(2024年6月18日から2025年6月16日まで)

**大和住銀／コロンビア米国株リバーサル
戦略ファンド Aコース
(ダイワ投資一任専用)**

主要投資対象である「コロンビア・US
コントラリアン・ファンド ヘッジド・クラ
ス」を、期を通じて高位に組み入れました。

**コロンビア・USコントラリアン・
ファンド ヘッジド・クラス**

当ファンドの運用戦略であるリバーサル
戦略(ファンダメンタルズ分析および株価水
準を考慮した逆張り投資)に基づき、株式
ポートフォリオを運用しました。

期間における主な売買としては、
Broadcom Inc.、The Boeing Company、
The Walt Disney Companyなどを購入す
る一方、Sysco Corporation、Qualcomm
Incorporated、Newmont Corporationな
どを売却しました。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変
動リスクの低減を目指しました。

**大和住銀／コロンビア米国株リバーサル
戦略ファンド Bコース
(ダイワ投資一任専用)**

主要投資対象である「コロンビア・US
コントラリアン・ファンド アンヘッジド・
クラス」を、期を通じて高位に組み入れまし
た。

**コロンビア・USコントラリアン・
ファンド アンヘッジド・クラス**

当ファンドの運用戦略であるリバーサル
戦略(ファンダメンタルズ分析および株価水
準を考慮した逆張り投資)に基づき、株式
ポートフォリオを運用しました。

期間における主な売買としては、
Broadcom Inc.、The Boeing Company、
The Walt Disney Companyなどを購入す
る一方、Sysco Corporation、Qualcomm
Incorporated、Newmont Corporationな
どを売却しました。

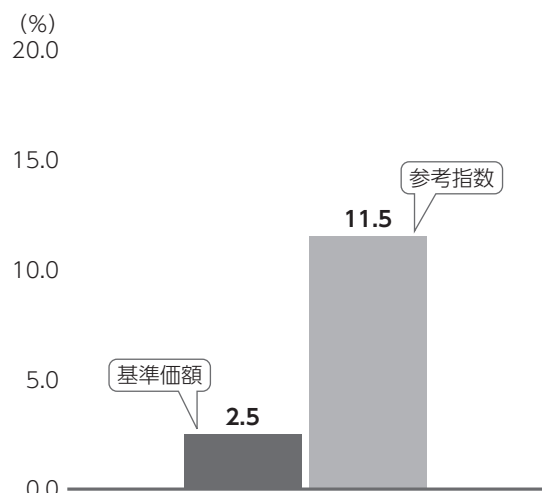
マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保
証債を中心とした運用を行いました。年限
に関しては、残存6ヵ月以内の短期の政府
保証債を中心とした運用を継続しました。

ベンチマークとの差異について(2024年6月18日から2025年6月16日まで)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)

基準価額と参考指数の騰落率対比

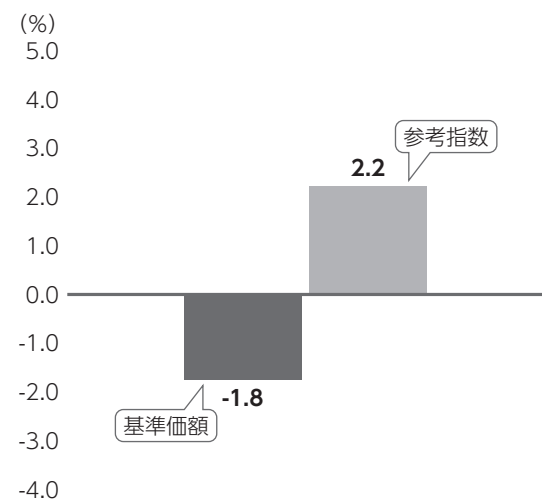


※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてS & P 500インデックス(配当込み)を設けています。記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてS & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)を設けています。記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2024年6月18日から2025年6月16日まで)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)
／Bコース(ダイワ投資一任専用)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項 目	第9期	
	Aコース (ダイワ投資一任専用)	Bコース (ダイワ投資一任専用)
当期分配金	0	0
(対基準価額比率)	(0.00%)	(0.00%)
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	11,305	27,382

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース (ダイワ投資一任専用)

引き続き、運用の基本方針に従い、「コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス」への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス

ポートフォリオの長期的価値を創造する可能性のある投資候補を選択する上での出発点として、市場に広がる悲観論に着目しており、それらの悲観論により株価が下落している銘柄を調査対象として、逆張りの投資プロセスを忠実に守っています。非常にボラティリティが高く、流動的な市場環境の中でリスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを進める方針です。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース (ダイワ投資一任専用)

引き続き、運用の基本方針に従い、「コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス」への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス

ポートフォリオの長期的価値を創造する可能性のある投資候補を選択する上での出発点として、市場に広がる悲観論に着目しており、それらの悲観論により株価が下落している銘柄を調査対象として、逆張りの投資プロセスを忠実に守っています。非常にボラティリティが高く、流動的な市場環境の中でリスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを進める方針です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

3 お知らせ

約款変更について

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)／Bコース(ダイワ投資一任専用)

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2025年4月1日)

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

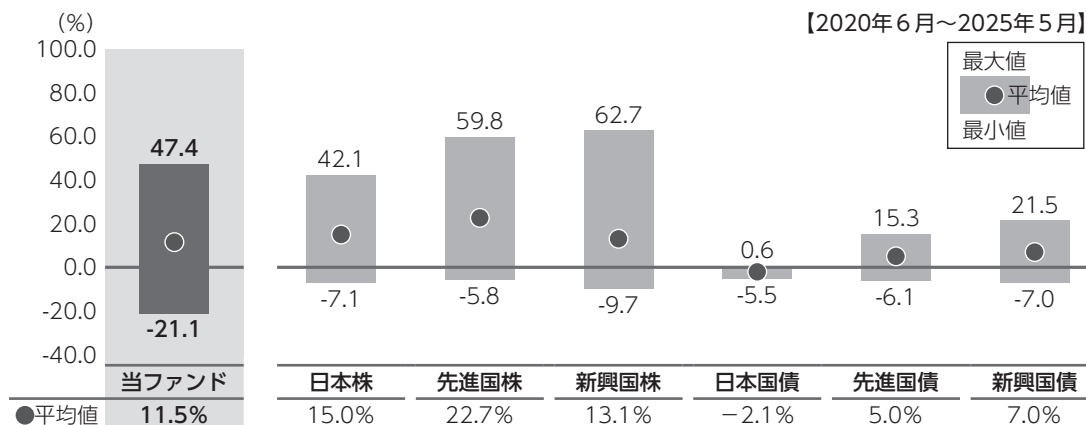
今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(設定日：2016年9月26日)
運用方針	外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。 大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)は以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス 米国の株式等 原則として組入資産に対して対円で為替ヘッジを行います。
主要投資対象	マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等 大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)は以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス 米国の株式等 原則として為替ヘッジは行いません。
当ファンドの運用方法	マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等 ■当ファンドは、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。 ■米国株式を実質的な投資対象とし、コロンビア社の米国株リバーサル戦略により信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■「コロンビア・USコントラリアン・ファンド」における株式の銘柄選択にあたっては、個別企業のファンダメンタルズを勘案したリバーサル(逆張り)戦略により行います。外国投資信託証券における株式の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎年6月15日(休業日の場合翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配金額を決定します。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

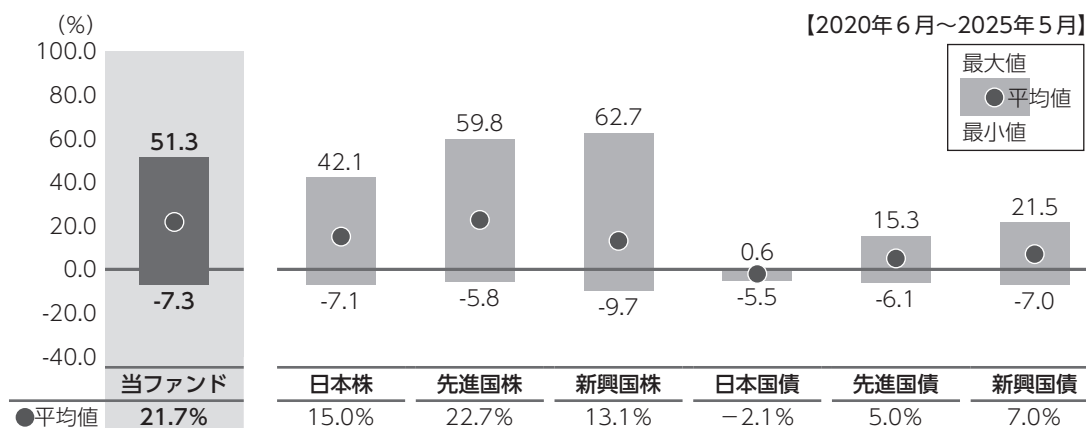
各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	<p>TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。</p>
先進国株	<p>MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。</p>
新興国株	<p>MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。</p>
日本国債	<p>NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。</p>
先進国債	<p>FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。</p>
新興国債	<p>JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが開発した指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。</p>

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容(2025年6月16日)

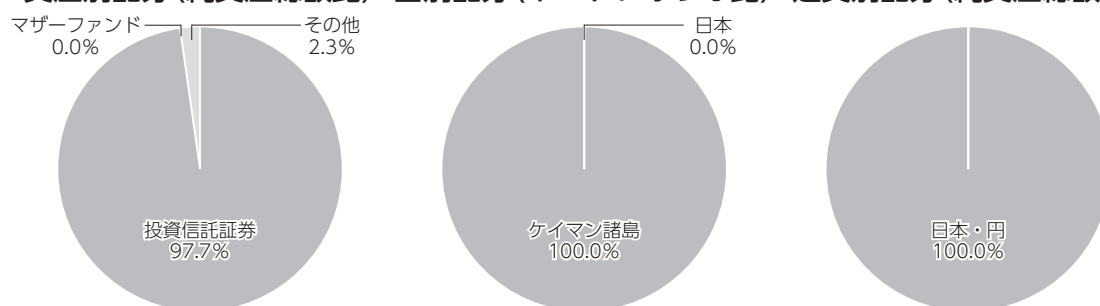
大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス	97.7%
マネー・マネジメント・マザーファンド	0.0%
コールローン等、その他	2.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

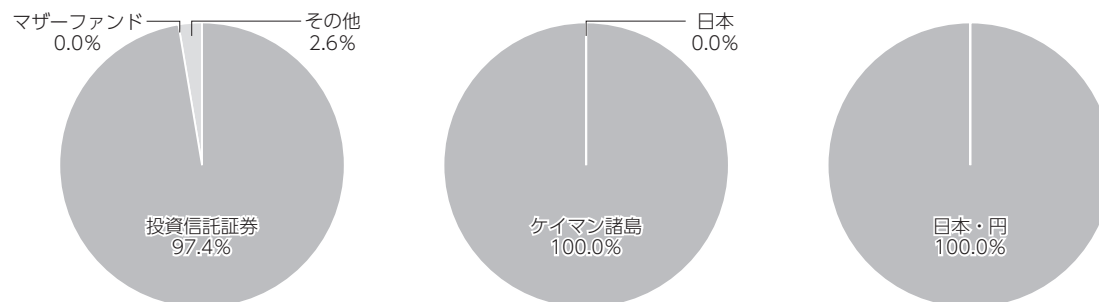
大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス	97.4%
マネー・マネジメント・マザーファンド	0.0%
コールローン等、その他	2.6%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

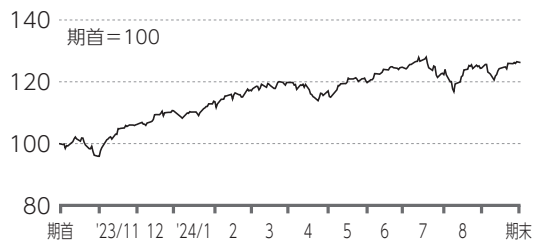
項目	第9期末 2025年6月16日		※Aコース(ダイワ投資一任専用)の当期における、追加設定元本額は449,166,321円、解約元本額は340,118,447円です。 ※Bコース(ダイワ投資一任専用)の当期における、追加設定元本額は1,187,622,180円、解約元本額は529,832,038円です。
	Aコース (ダイワ投資一任専用)	Bコース (ダイワ投資一任専用)	
純資産総額 (円)	2,934,543,497	9,029,118,930	
受益権総口数 (口)	1,377,377,728	2,415,319,711	
1万口当たり基準価額 (円)	21,305	37,383	

組入上位ファンドの概要

コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス
(2023年10月1日～2024年9月30日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「コロンビア・USコントラリアン・ファンド」の情報で、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーから提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(円建て)の推移
ヘッジド・クラス



※分配金再投資ベース

アンヘッジド・クラス



※分配金再投資ベース

1万口当たりの費用明細

※単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

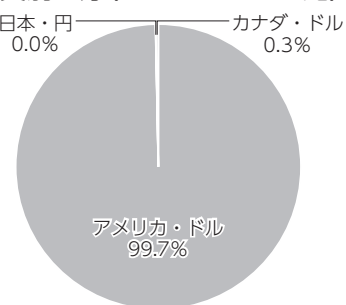
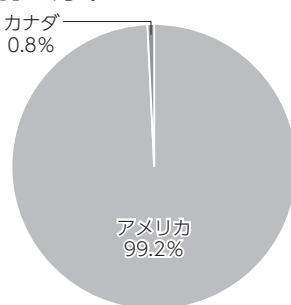
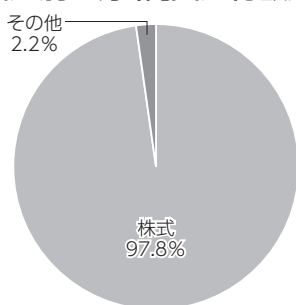
組入上位銘柄

(基準日：2024年9月30日)

順位	銘柄名	業種	組入比率
1	Microsoft Corporation	情報技術	7.1%
2	NVIDIA Corporation	情報技術	6.7%
3	Apple Inc.	情報技術	6.3%
4	Amazon.com, Inc.	一般消費財・サービス	4.6%
5	Meta Platforms Inc Class A	コミュニケーション・サービス	3.2%
6	Alphabet Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	2.0%
7	Alphabet Inc. Class C	コミュニケーション・サービス	2.0%
8	JPMorgan Chase & Co.	金融	1.8%
9	Elevance Health, Inc.	ヘルスケア	1.7%
10	AbbVie, Inc.	ヘルスケア	1.7%
全銘柄数		77銘柄	

※比率はポートフォリオに対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(ポートフォリオ比)



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2024年9月30日です。